

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐南工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月6日(金) 13:00~15:00
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室
開催にあたり、委員による課題研究発表会の参観を実施した
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|---------|----------|------|
| 会長 | 山口 禎一郎 | 山口鋼業株式会社 | (欠席) |
| 副会長 | 後藤 潤一 | 同窓会長 | |
| 委員 | 青山 訓子 | 岐阜県美術館 | |
| | 透 千保 | アナウンサー | (欠席) |
| | 溝川 哲哉 | PTA会長 | |
| 学校側 | 佐藤 尚史 | 学校長 | |
| | 宇佐美 理恵子 | 事務部長 | |
| | 阿部 光明 | 教頭 | (欠席) |
| | 福永 繁隆 | 教務主任 | |
| | 山田 秀樹 | 生徒指導主事 | |
| | 石井 正人 | 進路指導主事 | |
| | 加藤 勝彦 | 総務部長 | |
| | 稲葉 尚人 | 工業部長 | |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校長挨拶(11月~2月の学校の様子、課題研究全校発表会について)
- (2) 本校の取組について各分掌から報告
- (3) 「課題研究全校発表会」参観(体育館)

・工学科毎のブースで行われる10分程度のプレゼンを参観(第5限)

意見1: 課題研究での作品も製作して終わりではなく、製作した先の流通や販売まで経験ができる、更にレベルが上がるのではないかと。

意見2: 企業とコラボレーションした取組や弁理士による知的財産の教育など、ものづくりから発展させる取組もあり、素晴らしいと感じた。

意見3: こうした課題研究発表会や日ごろの活動を、岐阜市のメディアコスモスの展示室等で開催し、もっと対外的にアピールすることで学校の魅力が伝わるのではないかと。

(4) 令和7年度 自己評価について報告

意見1：家庭的な要素も考えられるが、遅刻や欠席など規則正しい生活を送ることが難しい生徒もいるため、注意喚起などの継続的な指導を実施していただきたい。

意見2：生活していく上で、自分の思いを表現することはとても大切であり、コミュニケーション能力の育成にもつながるため、演劇等ワークショップ事業は継続して実施できるとよい。

意見3：「伝える力」をきちんと磨いておかないと、自分の本当にやりたいことが相手に伝わらない。コミュニケーション能力を高める指導の導入において、外部講師や企業を活用し「伝える力」に重点を置いた指導の場を設けてもらえると、良い企業人、社会人が育つのではないかと感じた。

意見4：卒業後の進路希望がぼんやりとした状態で入学してくる生徒に対して、勤労観や職業観を育成するためにも、入学当初から卒業後を見据えたキャリア教育の取組を導入していかないといけない。そのサポート体制がどこまで充実できるかというのが、今後の検討課題になっていくのではないかと感じた。

意見5：大学への進学志向が高まる中、どうしても職業高校が選択されにくいという風潮があるのかもしれないが、特色を活かした活動を今後も継続していただきたい。

意見5：工業高校を卒業し、生き生きと社会の中で生活を楽しみながらものづくりをしている人から話を聞くことで、進路実現に向けたプランみたいなものが具体的に立てられるのではないかと感じた。地元企業や卒業生など、人を招く機会を大切にいただけたらと思う。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、生徒が本校で学習した3年間の集大成として行う「課題研究全校発表会」の参観を行い、委員の方から講評をいただいた。また、本校の取組や、自己評価、来年度に向けての改善方策等にも肯定的な意見、建設的なご意見が示された。引き続き、本校の教育活動に対する委員からの意見を踏まえて、よりよい学校運営を目指す予定である。